

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和7年7月17日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 鏡野観光局	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	岡山県 鏡野町	
所在地	岡山県苫田郡鏡野町河内60-8	
設立時期	令和5年6月28日	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	13人【常勤8人(正職員3人・出向等5人)、非常勤5人】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 宇佐美 勝正 (出身組織名) 鏡野町商工会	鏡野町商工会の会長として、地域の事業者支援や参画など、様々な取組で成果を上げている。また、サイクリストウエルカムな町を目指したイベント「ファンライド鏡野」の実施や、古民家をリノベーションした新たなカフェの経営に携わるなど、自然アクティビティの推進や観光施設を通じた地域の魅力向上に寄与している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー)	(氏名) 小谷 英「専従」 (出身組織名) ウエルコ(合)	鏡野町(旧奥津町を含む)の職員として、約20年間観光担当部署に配属され、観光全般に精通している。また3年間出向した(公社)岡山県観光連盟においては、観光情報システムの構築や各種リサーチ等の業務に携わり、観光地域マーケティングについて知見と能力を持つ。
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー)	(氏名) 難波 庄司「専従」 (出身組織名) (一社) 鏡野観光局	岡山県内のホテルを始めとした宿泊施設を中心に、約25年間の労務管理や経理業務等に長年従事。その後鏡野町観光協会の事務局長として約11年間勤務し、持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に努めるなど、知見と能力を持つ。
各部門(例：プロモーション)の責任者(専門人材)	前田 浩輝 (出身組織名) (株) 地域ソリューション パートナーズ	令和4年度まで約9年間(株)リクルートに在籍し、じゃらん山陰ゼネラルマネージャーや営業所長を経て、じゃらんリサーチセンターに所属し、国や県など多くの自治体と地方創生に奔走。平成29年に現法人を設立し、観光地域プロデューサーとして旅行商品開発の知見と能力を持つ。

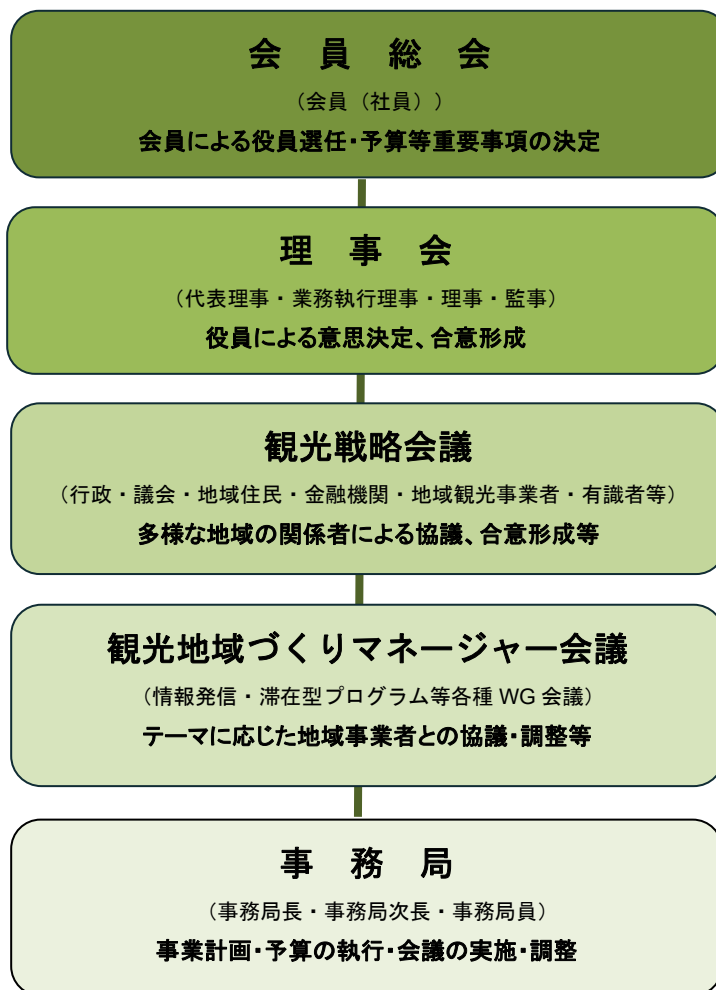
各部門（例：旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	加藤 学 （出身組織名） （一社）誘客マネジメンツ	観光地・旅館・温泉施設の誘客専門家として、ブランディングやUSPの構築を得意とする。約20年間広告・集客業に携わり、（株）リクルート在籍時には山間部・離島の集客案件を数多く手掛け、現在も旅館経営など数多くのコンサルティングで活躍している。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	【鏡野町】 ・産業観光課（鏡野町の観光戦略（観光ビジョン）・観光統計データ整備・観光イベントの実施・広域連携・タウンプロモーション・企業支援・ものづくり・販路開拓・農業振興・漁業振興・畜産業振興・狩猟有害鳥獣駆除） ・鏡野町森林づくりセンター（林業振興・国定公園・自然保護） ・総合政策室（総合計画・地方創生・地域連携） ・まちづくり課（地域づくり・移住定住促進・交流推進・公共交通・都市計画・景観形成） ・くらし安全課（広報・ケーブルテレビ） ・健康推進課（健康づくり） ・教育委員会 生涯学習課（文化財管理・活用） ・各振興センター（管轄地域の振興） 【岡山県】 ・岡山県美作県民局（広域連携・プロモーション） ・（公社）岡山県観光連盟（広域連携・プロモーション・商品開発） 【国土交通省】 ・苫田ダム管理所（湖面利用・事業連携・滞在プログラム企画・商品開発）	
連携する事業者名及び役割	【商工関係団体】 ・鏡野町商工会（起業創業支援・特産品開発・ものづくり／販路開拓） 【農林漁業関係団体】 ・作州かがみの森林組合 ・晴れの国岡山農業協同組合 ・鏡野町農業青年者クラブ「泉会」 ・奥津川漁業協同組合 （事業連携・滞在交流プログラム企画・商品開発） 【地域事業者／地域振興会社】 ・（一財）鏡野町振興公社・（株）夢アグリ鏡野・（一財）上齋原振興公社 【観光事業者】 ・奥津温泉旅館組合・地域内宿泊事業者 （情報提供・事業連携・宿泊サービス提供） ・（株）山田養蜂場・（株）山田みつばち農園・NPO 法人てっちりこ、（株）花美人の里・NPO 法人いーなプロジェクト・（一社）富ふるさと公社などの体験施設・土産・温泉等の施設 （情報提供・事業連携・滞在プログラム企画・商品開発） 【自然環境保護団体】 ・上齋原ふるさと掘り起し委員会・白賀川地域協議会 【アクティビティ推進団体】 ・鏡野町ノルディックウォーク部・鏡野遊歩会・苫西登遊会 【連携企業・団体】 ・（株）モンベル 【交通事業者】	

	・鏡野観光（有）・鏡野中鉄北部バス（株）・ＪＲ西日本をはじめとしたバス・タクシー会社 （情報提供・事業連携・交通アクセス改善・ツアー商品企画） 【地元金融機関】 中国銀行・津山信用金庫・晴れの国岡山農業協同組合 （観光地経営におけるアドバイス・地域事業者への財政面での支援）				
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する要件】①・② 行政機関、連携事業者などで構成する当法人総会、理事会により年間及び中期的な事業計画の意思決定を行う。 また、「観光戦略会議」を設置し、連携する官民・地域・事業者間での情報共有・課題提起などの場として位置づける。 なお、観光戦略の具体化に向け活動する地域づくりマネージャー会議等も設け、多様なメンバーの意見やアイデアを調整し、合意形成を図る仕組みを構築する。（戦略会議は年１～２回程度実施予定）				
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	鏡野町北部地域観光ビジョンの策定に合わせ、多様な立場の地域住民がメンバーとしてワークショップに参画し、観光戦略の具体化に向け、観光地域づくりに取り組む上でのコンセプトや情報発信、滞在プログラムの企画等に取り組んでいく。（一社）鏡野観光局の設立を機に、その事業内容を観光地域づくりに取り組むワーキンググループメンバーはもちろん、地域住民へも広く周知し、参画の促進、観光地域づくりにおける意識啓発・気運醸成を目的とした研修会等も開催し、観光戦略の方向性を共有していく。ワーキンググループでは観光地域づくりマネージャー間の意見交換会を含め、テーマに沿って実施する。				
法人のこれまでの活動実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th><th>実施概要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信・プロモーション</td><td> ◆ポータルサイト管理・運営事業 ・鏡野町観光総合システムを構築し、鏡野町観光＆移住総合 Web サイトのリニューアルによる一元的な情報発信 ・予約システム「かがみの里山健康プラン」のデジタル会員証等、会員管理機能の整備による管理・運営 ・鏡野町季刊パンフレットの発行（４回） （15,000 部×４回） ◆外国語版ポータルサイト管理・運営事業 ・外国語（英語版）アクティビティ Web サイトの作成 ・外国語版（英語・中国語）鏡野町観光 Web サイトでの発信 ◆国内プロモーション事業 ・関西や首都圏旅行会社等との商談会の実施・参加 ◆クオリティーの高い写真・動画コンテンツの整備 ・アドベンチャーツーリズム等 P R 動画の作成 （シニア向け・家族向け） ◆鏡野町観光 P R 事業の実施 ・岡山空港やモンベル店舗等へのポスターやパンフレットの設置 ・WEB 媒体やデジタルパンフレット等の掲出 ・観光情報誌等への記事広告掲出 ・パブリシティの実施 （ラジオ・テレビ 50 件・情報誌等 63 件・WEB 7 件・その他 21 件） </td></tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	◆ポータルサイト管理・運営事業 ・鏡野町観光総合システムを構築し、鏡野町観光＆移住総合 Web サイトのリニューアルによる一元的な情報発信 ・予約システム「かがみの里山健康プラン」のデジタル会員証等、会員管理機能の整備による管理・運営 ・鏡野町季刊パンフレットの発行（４回） （15,000 部×４回） ◆外国語版ポータルサイト管理・運営事業 ・外国語（英語版）アクティビティ Web サイトの作成 ・外国語版（英語・中国語）鏡野町観光 Web サイトでの発信 ◆国内プロモーション事業 ・関西や首都圏旅行会社等との商談会の実施・参加 ◆クオリティーの高い写真・動画コンテンツの整備 ・アドベンチャーツーリズム等 P R 動画の作成 （シニア向け・家族向け） ◆鏡野町観光 P R 事業の実施 ・岡山空港やモンベル店舗等へのポスターやパンフレットの設置 ・WEB 媒体やデジタルパンフレット等の掲出 ・観光情報誌等への記事広告掲出 ・パブリシティの実施 （ラジオ・テレビ 50 件・情報誌等 63 件・WEB 7 件・その他 21 件）
事業	実施概要				
情報発信・プロモーション	◆ポータルサイト管理・運営事業 ・鏡野町観光総合システムを構築し、鏡野町観光＆移住総合 Web サイトのリニューアルによる一元的な情報発信 ・予約システム「かがみの里山健康プラン」のデジタル会員証等、会員管理機能の整備による管理・運営 ・鏡野町季刊パンフレットの発行（４回） （15,000 部×４回） ◆外国語版ポータルサイト管理・運営事業 ・外国語（英語版）アクティビティ Web サイトの作成 ・外国語版（英語・中国語）鏡野町観光 Web サイトでの発信 ◆国内プロモーション事業 ・関西や首都圏旅行会社等との商談会の実施・参加 ◆クオリティーの高い写真・動画コンテンツの整備 ・アドベンチャーツーリズム等 P R 動画の作成 （シニア向け・家族向け） ◆鏡野町観光 P R 事業の実施 ・岡山空港やモンベル店舗等へのポスターやパンフレットの設置 ・WEB 媒体やデジタルパンフレット等の掲出 ・観光情報誌等への記事広告掲出 ・パブリシティの実施 （ラジオ・テレビ 50 件・情報誌等 63 件・WEB 7 件・その他 21 件）				

		・フィルムコミッション関係 Performing KAORU's Funeral「カオルの葬式」特別上映 ◆旅行会社・企業等プロモーションの実施 ・団体旅行や教育旅行向けプロモーションの実施 (2回実施・48社) ・旅行会社等エクスカーションの受け入れ(5回) (森の芸術祭関係視察など) ◆関西圏・県南地域に向けたPRの実施 ・鏡野町アンテナショップPRイベント(2回) ・鏡野町ふるさと物産展(3回) ・かがみの里山健康マルシェ in 関西(2回)
	受入環境の整備	◆自然アクティビティの充実 ・アクティビティ備品等の整備 カヤック・サップ・E-BIKE等関連用品の整備 ・自然体験コンテンツ受入環境整備の実施 ・案内人・インストラクター等の育成・研修 カヤックインストラクター資格取得・ガイド研修等の実施
	観光資源の磨き上げ	◆おかやま観光キャンペーンの取り組み ・オープニングイベントへの参加 ・森の芸術祭晴れの国・岡山事業 (森のシャトル便・警備・案内・冊子作成) ◆モニターツアーの実施(全5件) ・岡山駅発2件(1泊2日、日帰り)、 ・鳥取駅発2件(日帰り) ・業界関係者向け1件(1泊2日) ◆ファン創出に向けた戦略的な施策の展開 ・鏡野町ふるさと村特別村民制度の運用 ・かがみの里山健康クラブの運用 (年会費1万円×会員集2,176名) ・鏡野町ファンクラブ「かがみの里山健康クラブ」の運用 (入会金・年会費無料 6,490名) ・アクティビティ体験者等への観光割引券の発行 (1,497枚×500円) ・温泉むすめプロジェクト「奥津かがみ」による魅力発信 二次元キャラクターを活用した温泉地や地域の魅力を発信 ・地域を活性化する観光イベント等の実施 域内消費の拡大と魅力向上に向けたイベントの実施 ◆マーケティング調査 ・アドベンチャーツーリズム等ニーズ調査 ◆インバウンド ・FAMツアーの受け入れ 2件 ・台湾旅行会社現地視察受け入れ ・台湾向けSNS公式サイトによる発信 ◆団体向けトレッキングツアーやアクティビティ素材の提供 高清水トレイルや奥津湖カヤック体験等の案内人やインストラクター付き団体向けプランを旅行会社等に提供

	【定量的な評価】 ・ポータルサイト年間アクセス数（単位：人） 令和２年度 令和３年度 令和４年度 令和５年度 令和６年度 122,023人 134,965人 145,000人 169,000人 173,000人 ・「かがみの里山健康プラン」参加者実績（単位：人） 令和２年度 令和３年度 令和４年度 令和５年度 令和６年度 742人 1,087人 1,979人 1,988人 1,891人 ・団体旅行誘致実績（単位：人）※延べ人数 令和２年度 令和３年度 令和４年度 令和５年度 令和６年度 82人 425人 700人 1,025人 600人 ・会員制ファンクラブ「かがみの里山健康クラブ」会員数（単位：人） 令和２年度 令和３年度 令和４年度 令和５年度 令和６年度 2,954人 3,850人 5,150人 6,020人 6,490人
実施体制 ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。	【実施体制の概要】 令和４年度までの、鏡野町観光協会と健康の町かがみのプロモーション本部での取組を基礎に、新たな組織体制を確立し、メンバーには、行政、観光事業者、宿泊業者、飲食業者のみならず、農林漁業、交通関連事業者など多様な関係者が参画する官民が密接に連携した鏡野町を区域とした観光地域づくり法人を令和５年６月に設立し、７月より事業を開始した。 （実施体制図） ○理事会 会長（代表理事）１名、副会長（業務執行理事）１名、理事７名、監事２名にて構成 ○事務局 事務局長１名、事務局次長１名、職員１１名 ○観光地域づくりマネージャー３名 ○観光戦略会議 鏡野観光局会長、副会長、事務局、観光地域づくりマネージャー、行政、区長、議員、金融機関、地域観光事業者、有識者等で構成 鏡野町全体を包括する観光推進組織として設立された鏡野町観光協会ならびに鏡野町の健康の町かがみのプロモーション本部を解散し、新たに（一社）鏡野観光局の設立により、各種事業を展開する事務局体制を構築した。「観光地域づくりマネージャー」が中心となり、ワーキンググループ（部会）による活動、事業の具現化を進めていくとともに、「観光戦略会議」を観光地域づくりの推進における「核」として位置づけ、多様な地域関係者の参画と合意形成の場とする。

【実施体制図】



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

(区域：岡山県 鏡野町)



【区域設定の考え方】

鏡野町は、岡山県の北部、北は鳥取県に接しており、西は真庭市、南東部は津山市に接しており、町の約 87%が山林に覆われています。2019 年秋にオープンした高清水トレイルを始め、名勝奥津溪や岩井滝、岡山県立森林公園など、美しい水に抱かれた森や滝、溪谷、湖、田園風景が点在しています。また、全国でも珍しい「鏡野町健康づくり条例」を制定しており、自然を体感するトレッキングやカヤック、自転車といったアクティビティや、姫とうがらしやトマト、ピオーネ、はちみつ等の食、奥津温泉を始めとした豊富な温泉など、健康に繋がる素材に恵まれている町です。

- ・総面積 約 419.68 km²（※面積の約 87%が森林）
- ・人口 12,485 人 世帯数 5,634 世帯（R4.9.30 現在）

平成 17 年に、旧鏡野町、奥津町、上齋原村、富村の 4 町村が合併して誕生した現在の鏡野町を活動エリアとする鏡野町観光協会は、季節に応じた観光イベントの実施やもみじバスの運営、ボランティアガイドの育成、町内外への観光 PR 活動等を取り組んでおり、また、健康の町かがみのプロモーション本部による、健康のまち鏡野町の一体的な PR・プロモーション活動を実施しており、コンセプトや観光資源の面からも、鏡野町をエリアとする区域設定とするのが適切である。

【観光客の実態等】

鏡野町への観光入込客数は、全体では平成 24 年度には 100 万人を割り込み、その後は 90 万人台後半で推移していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、令和 2 年度は 89 万人と大幅な減少となっており、観光施設や商業施設も減少傾向となっている。

また、奥津温泉を中心とした宿泊者数も減少傾向となっており、平成 24 年度には 3 万人を下回り、2 万 5 千人前後を維持してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、令和 2 年度には 1 万 7 千人台まで大幅な減少となっている。

こうした現状の中で、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、生活様式の変化等による自然志向の高まりにより、アウトドアを始めとした自然資源への来訪者が増加傾向にあり、美しい水に抱かれた山々、そして特徴的な滝や溪谷、湖等が点在している。特に、令和元年 11 月に氷ノ山後山那岐山国定公園内にオープンした高清水トレイルや岩井滝、恩原高原や岡山県立森林公園などのアウトドアスポットでは、それぞれ 3～4 万人の来場実績となっており、全体的には近年増加傾向となっている。

また、古くから美人の湯として知られる美作三湯の一つ奥津温泉を始め、上齋原温泉やのどろ温泉、大釣温泉などの温泉施設が点在しており、旅の魅力となっているが、宿泊から日帰り利用への移行が進んでいることもあり、宿泊者数は大幅に減少し、日帰り温泉施設についても減少傾向となっている。

この他、国指定の名勝地奥津溪は、岡山県を代表する紅葉の名所として知られ、一年で最も多くの来場者となる秋のメイン素材となっており、また、みつばち産品で知られる（株）山田養蜂場の本社がある鏡野町には、体験農園やお菓子工房などに直営施設があり、旅の目的地となっている。また、奥津湖（苦田ダム）では、近年のカヌー（カヤック）やサップ、E-BIKE、案内人付き体験プラン等、自然アクティビティによる新たな観光需要が期待されている。

5 月（GWが中心）、8 月（夏休み時期）、10 月、11 月（紅葉時期）は、例年来訪者数が他の時期に比べて多くなっている。6 月（梅雨時期）、12 月、1 月、2 月、3 月（積雪時期）は閑散期となることから、天候に配慮した誘客対策が必要である。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

エリア	上齋原地域	奥津地域	富地域	鏡野地域
カテゴリー				

自然・景観	高清水トレイル・高清水高原 赤和瀬溪谷 吾々呂溪谷 岩井滝・名水岩井 恩原高原 恩原湖 岡山県立森林公園 花知ヶ仙 三ヶ上 人形仙 伯州山 ブナの原生林 イワウチワ ミズバショウ ザゼンソウ マユミ ニッコウキスゲ ウスイロヒョウ モンモドキ ヤマボウシ（いつき）	名勝奥津溪 泉源溪谷 河内不動の滝 二軒屋の滝 唐音の滝 泉山 奥津川（吉井川源流） 苦田ダム 奥津湖 七色檜 ギフチョウ 紅葉 こぶし 桜 ドウダンツツジ りんどう アルストロメリア オオサンショウウオ かじか蛙	白賀溪谷 塔滝溪谷 ふぐるみ原生林 大空山 富栄山 白賀川（旭川源流） 大カタクリ自生地 ヤマセミ カワセミ	蘭頭原の滝・越畑溪谷 中林の滝 泉山 角ヶ仙 中谷カタクリ自生地 ジャコウアゲハ れんげ畑
食べ物	原木なめこ すうめ 健康茶（くまざさ茶・黒文字茶） 鏡野ラーメン 山菜料理 すずのこ ひらめ（あまご） やま弁 どすこい寿司 木工品・がま細工	かがみの田舎カレー 苦田ダムカレー 鏡野いもじる 田舎料理・山菜料理 ぼたん鍋（ジビエ料理） 辛味噌（辛美人）ラーメン 姫とうがらし 葉わさび 鏡野米	ひらめ（あまご） 和牛 原木しいたけ 山菜	ピオーネ 白桃 新高梨・あたご梨 トマト いちご はちみつ 越畑おこわ 越畑ジャンボとり串 杵つき餅 はちみつどら焼き 栗餡団 鏡野ほろり そば焼酎うったて
歴史・文化・行催事	上齋原神社 人形峠（ウラン） 木地師	奥津温泉・足踏み洗濯 奥津溪八景（臼淵の甌穴群など） 歌の小径 宝樹寺	布施神社お田植祭 たたら文化	万葉のみち 大野の整合 湯指の船着場跡 片岡鉄兵像 郷源氏ポタル発生地 たたら文化

		奥津神社（美湯神社） 奥津歴史資料館 かがみの近代美術館 山に響くこだま（やませみオブジェ）			
施設・拠点	上齋原温泉 クアガーデンこのか 恩原高原スキー場 恩原高原オートキャンプ場 コテージハウス 恩原 うたたねの里・木地師の館・森の学校 妖精の森ガラス美術館 人形峠科学の森プラザ なごみ茶屋 上齋原文化センター・ヴァルトホール 恩原高原グランドゴルフ場 上齋原観光スポーツ施設 鏡野町上齋原振興センター	奥津温泉 花美人の里 大釣温泉 奥津ゴルフ倶楽部 泉源園地 月出原園地 スノーモビルランド in ナチュラル泉源 道の駅奥津温泉 鏡野町観光協会・奥津温泉旅館組合 奥津湖総合案内所「みずの郷奥津湖」・ビジターセンター（鏡野観光局） 奥津湖パドリングフィールド 鏡野町奥津振興センター	のとろ温泉天空の湯 たたら展示館 旧森江家 五葉邸 鍛冶屋谷たたら遺跡 布施神社 富ふるさと公園 白賀釣センター 鏡野町富振興センター	越畑ふるさと村 たたら記念館 香々美ダム 夢広場 ふれあい交流広場（夢広場） 男女山公園 山田養蜂場 本社 山田養蜂場みつばち農園 山田養蜂場りとるび～はうす 山田養蜂場お菓子工房ぶんぶんファクトリー ペスタロッツ館 鏡野町役場 鏡野町国民健康保険病院 鏡野ドーム	
体験・交流	登山・トレッキング（ハイク） 自然観察会 スキー スノーボード スノーシューハイク キャンプ ガラス体験 野球・テニス コンサート 研修会 鏡野山開き 岩井滝まつり 齋の里納涼まつり	登山 ひらめ（あまご）のつかみ取り スノーモビル体験 ダムツアー カヤック体験 サップ体験 自転車・E-BIKE レンタル ノルディックウォーク キャニオニング（シャワークラ イミング）	登山 ひらめ（あまご）のつかみ取り 溪流釣り 富ふるさと祭 富ひらめ祭	養蜂・採蜜体験 自然塾 いちご摘み取り体験 ブルーベリー摘み取り体験 博物館 野球・テニス フットサル プール バスケットボール・バレーボール コンサート 研修会	

	上齋原ふるさと祭り 恩原高原氷紋まつり	鏡野町大納涼祭 奥津温泉夏祭り OKUTSU 芸術祭 奥津もみじ祭りががみの健康マラソン大会 とんど祭り		ファンライド鏡野 新町地蔵おどり 鏡野町産業まつり
--	------------------------	--	--	---------------------------------

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

区 域	施設数	収容力	部屋数	施設タイプ			
				ホテル・旅館	民宿・民泊 農家民宿	コテージ・一棟貸	その他
上齋原地域	4	49	11		3	1	
奥津地域	11	360	73	3	4	3	1
富地域	4	96	17	1	1	2	
鏡野地域	3	11	3		3		
合 計	22	516	104	4	11	6	1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

○特徴

鏡野町への来訪については、概ね9割以上が自動車を交通手段としている傾向がある。地域内には高速道路は整備されていないが、南部に隣接する津山市には中国自動車道の院庄インターチェンジがあり、町を縦断する国道179号により各スポットにもスムーズにアクセスできます。また、大阪、倉吉など近隣都市部にアクセスする高速バスも民間バス会社が運行。JRについては、JR津山駅を発着する路線バスにより地域内へアクセスが可能となっているが、便数や運行路線が限定され、域内交通との接続も不便である。

空路については、最寄りの空港として岡山桃太郎空港、鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港があるが、域内までのアクセスが限定され、改善に向けた対策が必要である。

○自動車（鏡野町南部まで）

- ・大阪から 池田IC→中国自動車道→院庄IC…約120分
- ・神戸から 神戸三田IC→中国自動車道→院庄IC…約120分
- ・広島から 広島北IC→中国自動車道→院庄IC…約140分
- ・福山から 福山IC→山陽・岡山・中国自動車道→院庄IC…約90分
- ・倉敷から 倉敷IC→山陽・岡山・中国自動車道→院庄IC…約70分
- ・岡山から R53→R179…約80分
- ・米子から 米子IC→米子・中国自動車道→院庄IC…約70分
- ・倉吉から R179…約50分

○電車（岡山駅～津山駅）

- ・JR津山線（岡山―津山）…90分 ※津山駅から路線バスに乘換て鏡野町へ
- バス（主要都市部と当地域を結ぶ路線）
 - ・津山⇄石越・奥津温泉（鏡野町内各地に停車）※一部乗り継ぎ 中鉄北部バス運行 ※1日各5便
 - ・大阪⇄倉吉（上齋原・奥津温泉経由） 日本交通運行 ※1日往路・復路各2便

○飛行機 ※最寄空港のみ

岡山桃太郎空港発着

〔国内〕

- ・羽田空港⇄岡山桃太郎空港 …約75分 JAL/ANA 運航 1日往路・復路各10便
- ・札幌（新千歳）⇄岡山桃太郎空港…約110分 ANA 運航 1日往路・復路各1便
- ・沖縄（那覇）⇄岡山桃太郎空港…約110分 JTA 運航 1日往路・復路各1便

〔海外〕

- ・ソウル（仁川）⇄岡山桃太郎空港…約75分 大韓航空運航 水、金、日曜日往路・復路各1便
- ・上海（浦東）⇄岡山桃太郎空港 …約145分 中国東方航空運航 火、木～日曜日往路・復路各1便
- ・台北（桃園）⇄岡山桃太郎空港 …約200分 タイガーエア台湾 1日往路・復路各1便

鳥取砂丘コナン空港発着

〔国内〕

- ・羽田空港⇄鳥取砂丘コナン空港 …約75分 JAL/ANA 運航 1日往路・復路各5便

米子鬼太郎空港発着

〔国内〕

- ・羽田空港⇄米子鬼太郎空港…約80分 ANA 運航 1日往路・復路各6便

〔海外〕

- ・ソウル⇄米子鬼太郎空港 …約90分 エアソウル運航 水、金、日曜日往路・復路各1便

●域内交通

○特徴

地域内での移動については、JR姫新線は学生の通学利用が多い。

広域エリアであるため、民間が運行するバス路線は全域を網羅しておらず、町営バスの運行によりカバーしているが、交通手段の確保・利便性の改善が大きな課題となっている。

○タクシー 地域内で3事業者が営業

○バス

- ・中鉄北部バス〔津山⇄石越・奥津温泉〕1路線
- ・町営バス〔鏡野地域町営バス、奥津地域福祉バス、上齋原トロリンバス、富地域福祉バス〕

乗車料金 1回あたり 大人200円 小人100円

幹線ルートをはじめ、町内11路線運行

【外国人観光客への対応】

平成31年度より海外旅行者の受入対応が可能なアクティビティガイドの人材育成やインバウンド向け滞在プログラムの企画、ファムトリップにおける現地でのガイド受入等も実施しているところである。また、平成30年より観光案内版の多言語化を進めており、英語、中国語（繁体字・簡体字）への整備を進めている。

令和元年にグランドオープンした高清水トレイルを始めとした自然スポットにおいて、登山道の修繕や案内標識の多言語化、トイレの洋式化なども検討している。

宿泊施設等の受入については、農家民宿や民泊などでも海外旅行者の受入が進んでいるほか、奥津温泉の旅館・ホテルにおいてもアジア圏を中心に宿泊客の受入が進んでおり、ニーズに合った施設の改善など環境整備を進めている。

PRツールについては、観光&移住総合Webサイトについては、英語、中国語（繁体字・簡体字）版のページを公開しており、モバイルファーストな観光総合サイトの構築など、バージョンアップ等を実施しているほか、観光総合パンフレットは3か国語のものを作成しており、サイクリングマップや登山ガイドマップについても英語版の作成を検討している。ただし、SNSによる発信やWi-Fi環境の

整備については取組が遅れており、改善が必要となっている。プロモーションについては、コンセプトに基づいた戦略のもと、ターゲットに沿った取り組みを進めつつ、岡山県、岡山県観光連盟や近隣エリアと連携した活動も強化していきたい。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	データに基づく戦略・KPIの策定と進捗管理のため。分野別の消費単価を把握することで、地域の課題を把握し、その改善策を見出す。滞在時間の延長と地域内での旅行消費額の増加に繋げていく。	観光庁の示すアンケートフォーマットをベースに個別項目を追加し、作成した調査表により顧客満足度調査を自主事業として実施。
来訪者満足度	地域が提供する各種サービスの品質の維持・向上のため。調査対象施設には結果のフィードバックを行い、満足度向上に向け、改善等を図っていく。	観光庁の示すアンケートフォーマットをベースに個別項目を追加し、作成した調査表による顧客満足度調査を自主事業として実施。
ファンクラブ会員数・リピーター率	当地域のファンクラブ会員数及び会員等リピーター動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	ファンクラブ会員数の把握及びリピーター率等の調査を自主事業として実施。
WEBサイトのアクセス状況	当地域に対する顧客の関心度を把握するとともに今後の効果的な情報発信の基礎データを収集するため。	Google等の活用により自主事業として実施。
自然アクティビティ等体験プランの造成数・満足度	自主財源確保（収益増）と、地域住民との連携による来訪者の満足度向上、滞在時間延長の促進を図る。	自主事業として実施。
延べ宿泊者数	旅行消費額の増加や満足度の向上には、宿泊者数を伸ばすことが必要であり、その動向を調査、把握する。 外国人旅行者も合わせてデータを収集。	鏡野町内宿泊施設における調査を行政と連携して実施。

4. 戦略

（1）地域における観光を取り巻く背景

鏡野町では人口減少が進んでおり、基幹となる農業や林業はもとより各種産業での人材不足が顕著となっている。また、少子高齢化により集落維持も困難になりつつある地域もあるなど、過疎化に歯止めがかかっていない状況にある。

こうした課題に対し、（一社）鏡野観光局をプラットフォームとして、エリア内の観光資源を改めて見直し、健康をキーワードとした地域ならではの自然との共生やSDGsにもつながる取組を活用すると

ともに、地域の担い手、リーダーの育成を行い、地域の人々が主体となって観光地域づくりを進めることで、関係人口の増加や地域経済の循環、担い手不足の解消につなげていくこととしている。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) ○豊富な観光資源を保有。 ○温泉（奥津温泉、大釣温泉、上齋原温泉、のとり温泉など）。 ○健康に繋がる特産品（トマト、姫とうがらし、あまごなど）がある。 ○奥津湖にてカヤック、サップなどのアクティビティ展開が可能。 ○関西以西唯一のスノーモービルランドでのスノーモービル体験。 ○知名度の高い企業「山田養蜂場」と協力可能な体制。	弱み (Weaknesses) ○ターゲットの絞り込みが不十分（一体的な情報発信など）。 ○二次交通網（鏡野町内）の整備不足。 ○地域産品の磨き上げ、プロモーションの不足。 ○滞在プログラムの継続的開発や観光のワンストップ体制ができていないなど、鏡野町観光業界を統べる人材確保、組織整備が不十分。 ○観光における町民の巻き込みが不十分となっており、一体感を醸成できていない。
外部環境	機会 (Opportunity) ○団体旅行から個人旅行へ旅行形態が変化。 ○自然・健康志向・マイクロツーリズム等、観光客ニーズの多様化。 ○SNS 等による情報発信手段の多様化、利便性の向上。 ○コロナ禍の収束に伴い国内外の旅行者が増加。 ○観光立国を目指し、日本政府が積極的に業界を後押し。 ○インバウンド需要の取り込めを目指し日本版DMOの構築推進。	脅威 (Threat) ○国内旅行の低迷（旅行機会の減少等）。 ○人口減少、少子高齢化社会の進行（業界の人手不足）。 ○他地域との競争激化（国内観光、訪日旅行）。 ○気候変動による災害リスクの上昇。 ○国際情勢の不安定化（コストの上昇）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 自然と共生した健康的なライフスタイルに関心の高い関西圏及び近県のアクティブ層
○選定の理由 自然と共生した暮らしの中で、健康を意識したライフスタイルを過ごしている近県や関西圏、岡山県南の女性を含むアクティブな家族を「新たなターゲット層」として選定する。
○取組方針 健康に繋がる自然アクティビティなどの体験プログラムや地域ならではの健康食を提供する仕組みを構築し、サステナブルな地域を体感できるツアー・プログラム商品の造成に取り組む。 また、鏡野町ファンクラブ制度を活用し、健康時間の提案等会員サービスを通じたファン拡大を進め「鏡野ウェルネス」交流を促進する。
○ターゲット層 健康への意識が高い、国内及び海外（台湾・香港）等東アジア圏を含むアクティブ層

○選定の理由 近隣空港に就航便があり、アクティビティ、自然（温泉、雪など）を求める傾向もあり、レンタカーへの抵抗が少ないなど当地域との親和性が高く、リピーターにもつながりやすいため。 ○取組方針 リピーター率が高く地方への来訪意欲が高い台湾をメインとし、現地案内人付きのカヌーやサップ、サイクリングやトレッキングなど、自然アクティビティやフルーツの関連するコンテンツ造成を行い、滞在時間の拡大による交流を促進する。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	自然との共生により、“元気で、笑顔になれる” 健康のまち鏡野町 (Okayama Kagamino Wellness)
②コンセプトの考え方	中国山地の山々を形成する鏡野の森林は、美しい水に抱かれた滝や溪谷、湖が吉井川や旭川となり、作物に潤いを与え、古より人と自然は共生してきました。そして歴史は巡り、高清水トレイルを始めとした山々、名勝奥津溪や白賀溪谷、奥津温泉などの豊富ないで湯、里山の田園風景など、地域に素晴らしい自然を残してくれました。社会情勢の変化や気候変動等による様々な環境の変化に直面する中で、人と自然が共生できる地域独自の価値創造により、コンセプトに基づく一元的な情報の発信、滞在プログラム等を通じて、元気で、笑顔になれる旅（交流）を提供し、鏡野のファンを創出するとともに、住民はもちろん、国内外の人々が健康で豊かに暮らせる地域づくりを目指す。

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	観光地域づくりマネージャー会議、観光戦略会議の開催 （一社）鏡野観光局の事業計画の進捗状況を地域関係者が共有し、事業に対する提案や質疑などを重ねながら、合意形成を進めていく場として「観光戦略会議」を設置し、年２回程度開催する。また、地域関係者の合意形成が特に必要となる取り組みについては、観光地域づくりマネージャーを中心としたメンバーと関係者が事業の具体化に向け、活動を進めていくこととし、観光戦略会議の開催前に観光地域づくりマネージャー会議を行う。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	新型コロナウイルス経済対策事業等で実施されたアンケート調査や、かがみの里山健康プラン参加者に実施した、満足度調査など、各種データを基に、そこから地域課題や観光客から評価の低い点・要因を分析し、その改善策を観光戦略会議において検討する。 観光客に提供する各種サービス（情報発信・現地での情報提供・滞在プログラム・宿泊施設での受入・二次交通等）の品質の維持・改善を目指す

	し、立案した事業を実施し、観光客への継続的な調査を行いながら、評価・分析を継続していく（PDCAサイクルの構築）。 満足度調査をはじめ、（一社）鏡野観光局の取組については、地域関係者へフィードバックし、サービスの品質向上にもつなげていく。満足度の高いサービスを一体的に維持・向上していく仕組みづくりを検討する。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	新たなターゲット（海外、近県、自然アクティビティ等の体験を好む旅行者）に向けたブランドイメージの発信（入口の作りこみ、一元化）をポータルサイト、ガイドブックなどのツールにより行っていく。 なお、ポータルサイトについては、多言語対応機能を付帯し、滞在プログラムの予約やファンクラブの管理等が可能なシステムを検討するとともに、アクセス解析による分析機能も整備する。SNSと連動した情報発信も行い、地域全体でブランドイメージを発信していく。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

（1）必須KPI

指標項目		2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	400 (0)	442 (3)	485 (6)	510 (10)	535 (15)	560 (16)
	実績	425 (0)	455 (3)	475 (3)			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	20 (0)	22 (0)	23 (0)	25 (1)	26 (1)	27 (1)
	実績	17 (0)	25 (0)	18 (0)			
●来訪者満足度 (%)	目標		67.0 ()	69.0 ()	70.0 ()	71.0 ()	72.0 ()
	実績		68.4 ()	87.5 ()			
●リピーター率 (%)	目標		18.0 ()	19.0 ()	20.0 ()	21.0 ()	22.0 ()
	実績		19.2 ()	28.5 ()			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

令和3年度に策定した鏡野町北部地域観光ビジョンを踏まえ、鏡野版DMO準備会議において、DMOの事業計画と合わせてKPIの設定について議論した。また、観光団体等との議論や専門人材による助言を踏まえ、コンセプトやターゲットに基づく事業内容やKPI数値を設定した。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

令和5年度以降、毎年消費額（一人あたり）2%増を目標として設定する。

訪日外国人旅行者については、エリア内での調査サンプルが少なく、数値の変動が大きくなることが予想されるため、1人当たりの消費額を国内旅行者と同額に設定する。

●延べ宿泊者数

鏡野町観光動態調査の宿泊施設により設定。

●来訪者満足度

全国の観光圏等で実施しているアンケートと同様の調査形式及び独自調査データを収集し、他地域との比較なども踏まえ分析を行う。

●リピーター率

全国の観光圏等で実施しているアンケートと同様の調査形式でデータを収集し、他地域との比較なども踏まえ分析を行う。

(2) その他の目標

指標項目		2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度
●滞在プログラム数 (件)	目標	10	12	14	16	18	20
		(0)	(0)	(1)	(2)	(2)	(2)
	実績	10	12	14			
		(0)	(0)	(1)			
●滞在プログラム参加者数 (人)	目標	1,400	1,500	1,700	1,900	2,100	2,300
		(0)	(10)	(30)	(50)	(100)	()
	実績	1,979	1,988	1900			
		(0)	(15)	()			
●滞在プログラム満足度 (%)	目標		63.0	64.0	65.0	66.0	67.0
		()	()	()	()	()	()
	実績		72.0	78.5			
		()	()	()			
●年間WEB訪問者数 (人)	目標	145,000	155,000	165,000	175,000	185,000	195,000
		(2,000)	(2,500)	(3,500)	(5,000)	(6,500)	()
	実績	145,000	169,000				
		(1,940)	(3,575)	()			
●年間観光入込客数 (千人)	目標	800	815	830	870	900	930
		(0)	(2)	(3)	(5)	(5)	()
	実績	948	829	700			
		()	(2)	(1)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

滞在プログラムの造成・実施、一元的な情報発信を（一社）鏡野観光局が取り組む事業の重点施策とし、データ収集をもとにその成果を把握したい。また、鏡野版DMO設立準備会議において、DMOの事業計画と合わせてKPIの設定について議論し、弱み（観光客から満足が得られなかった点）を強みへと変えていく取組を事業として実施していく。

【設定にあたっての考え方】

●滞在プログラム造成数／●滞在プログラム参加者数／●滞在プログラム満足度
当地域での滞在時間の延長と旅行消費額の増加を図るために、観光戦略会議が提案した滞在プログラム等と連動した滞在プログラムの商品化を図る。なお、滞在プログラム参加者には満足度調査も実施し、調査結果をもとにプログラムのブラッシュアップを図り、リピーター獲得へとつなげていく。プログラム造成のノウハウも蓄積し、毎年造成数を伸ばすとともに、満足度が高い商品づくりを行っていく。※毎年プログラム造成数を増やししながら、参加者数の増加も図る。

●WEBアクセス数

鏡野町観光＆移住総合ウェブサイト「かがみの旅と暮らし」内の「かがみの里山健康プラン」を整備した令和2年度を基準とし、年間アクセス件数を把握する。SNSとの連動、滞在プログラムの内容を充実させ、アクセス数を伸ばしていく。

●観光客入込客数

年間・月・地区単位での入込客数の動向を掴み、閑散期に向けての事業立案等へデータを活用する。外国人観光客の入込客数についても、データ収集の方法を今後検討する。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

（1）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2023（R5） 年度	83,266,966 円	【会費収入】 560,000 円 【収益事業収入】 5,366,687 円 【鏡野町負担金】 20,598,590 円 【受託事業費】 56,741,689 円 （岡山県 1,005,000 円） （鏡野町 16,513,452 円） （その他 39,223,237 円）
2024（R6） 年度	110,219,000 円	【会費収入】 650,000 円 【収益事業収入】 7,000,000 円 【鏡野町負担金】 28,000,000 円 【受託事業費】 74,569,000 円 （国・県 10,200,000 円） （鏡野町 38,169,000 円） （その他 26,200,000 円）
2025（R7） 年度	152,000,000 円	【会費収入】 700,000 円 【収益事業収入】 50,000,000 円 【鏡野町負担金】 28,000,000 円

		【受託事業費】 73,300,000 円 (国・県 10,000,000 円) (鏡野町 32,000,000 円) (その他 31,300,000 円)
2026 (R 8) 年度	160,000,000 円	【会費収入】 750,000 円 【収益事業収入】 55,000,000 円 【鏡野町負担金】 20,000,000 円 【受託事業費】 84,250,000 円 (国・県 10,000,000 円) (鏡野町 32,000,000 円) (その他 42,250,000 円)
2027 (R 9) 年度	165,000,000 円	【会費収入】 800,000 円 【収益事業収入】 60,000,000 円 【鏡野町負担金】 20,000,000 円 【受託事業費】 84,200,000 円 (国・県 10,000,000 円) (鏡野町 32,000,000 円) (その他 42,200,000 円)

(2) 支出

年 (年度)	総支出	内訳 (具体的に記入すること)
2023 (R 5) 年度	83,266,966 円	【一般管理費】 20,576,141 円 【事業原価 (収益事業仕入)】 19,357,862 円 【事業費】 43,332,963 円 [内訳] 商品造成・販売強化事業 5,500,000 円 インバウンド対策事業 651,273 円 プロモーション関連事業 8,720,000 円 マーケティング調査事業 500,000 円 地域づくりイベント事業 1,500,000 円 人材育成等事業 2,820,000 円 委託事業 23,641,690 円
2024 (R 6) 年度	110,219,000 円	【一般管理費】 28,000,000 円 【事業原価 (収益事業仕入)】 21,000,000 円 【事業費】 61,219,000 円 [内訳] 商品造成・販売強化事業 6,000,000 円 インバウンド対策事業 1,000,000 円 プロモーション関連事業 8,800,000 円 マーケティング調査事業 1,000,000 円 地域づくりイベント事業 1,500,000 円 人材育成等事業 1,000,000 円 委託事業 41,919,000 円
2025 (R 7) 年度	152,000,000 円	【一般管理費】 38,000,000 円 【事業原価 (収益事業仕入)】 25,000,000 円 【事業費】 89,000,000 円 [内訳] 商品造成・販売強化事業 10,000,000 円 インバウンド対策事業 1,000,000 円

		プロモーション関連事業 10,000,000 円 マーケティング調査事業 1,000,000 円 地域づくりイベント事業 2,500,000 円 人材育成等事業 1,000,000 円 委託事業 23,500,000 円 指定管理施設運営事業 40,000,000 円
2026 (R 8) 年度	160,000,000 円	【一般管理費】 40,000,000 円 【事業原価 (収益事業仕入)】 27,000,000 円 【事業費】 93,000,000 円 [内訳] 商品造成・販売強化事業 8,000,000 円 インバウンド対策事業 2,000,000 円 プロモーション関連事業 10,000,000 円 マーケティング調査事業 2,000,000 円 地域づくりイベント事業 3,000,000 円 人材育成等事業 1,000,000 円 委託事業 24,000,000 円 指定管理施設運営事業 43,000,000 円
2027 (R 9) 年度	165,000,000 円	【一般管理費】 40,000,000 円 【事業原価 (収益事業仕入)】 27,000,000 円 【事業費】 98,000,000 円 [内訳] 商品造成・販売強化事業 8,000,000 円 インバウンド対策事業 2,000,000 円 プロモーション関連事業 10,000,000 円 マーケティング調査事業 2,000,000 円 地域づくりイベント事業 3,500,000 円 人材育成等事業 1,000,000 円 委託事業 25,500,000 円 指定管理施設運営事業 46,000,000 円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ①コンセプトに基づき造成するアクティビティプラン等の滞在プログラムをDMOの収益事業の核として、特産品開発のコーディネートなども担い、企画手数料、販売手数料、売上収入を事業の拡大に合わせて伸ばすことを軸に、鏡野町はじめ、DMOを構成する団体、事業者からの負担金と合わせ運営財源の基盤とする。
- ②事業成果を上げながら、行政や地域内産業関係団体、地域事業者からの事業を受託し、指定管理施設の運営も含めて収益増加につなげる。
- ③DMOとして一定の成果を地域事業者にも示しながら、会員の獲得に力を入れる。
- ④二次交通の不便さ、食やお土産物の不足などの弱みを強みへと変える取組を重点的に行い、収入源へと変えていく。
- ⑤国の地方創生にかかる交付金、関係省庁（観光庁、環境省など）の各種事業メニューの積極的な活用により、DMOの運営基盤を整えていく。

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

岡山県鏡野町は、当該エリア独自のブランドの確立により、地域の持続的な発展を目指す官民共同の組織（一社）鏡野観光局を設立し、情報発信の一元化、マーケティング機能の強化、滞在プログラムの開発と販売、食や特産品の開発・販路開拓などの取組とともに、地域の多様な関係者の合意形成（マネジメント機能）を担う「観光地域づくり」の舵取り役として候補DMOとして取り組みを進めているところであるが、早期の登録DMOを目指し、（一社）鏡野観光局とともに申請します。

9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

--

10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	小谷 英
担当部署名（役職）	事務局次長 兼 事業部長
郵便番号	708-0431
所在地	岡山県苫田郡鏡野町河内 60-8
電話番号（直通）	0868-52-9100
F A X 番号	0868-52-9101
E - m a i l	kodani@kagamino.holiday

11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	岡山県 鏡野町
担当者氏名	石田 和之
担当部署名（役職）	産業観光課 課長補佐
郵便番号	708-0392
所在地	岡山県苫田郡鏡野町竹田 660
電話番号（直通）	0868-54-2987
F A X 番号	0868-54-3662
E - m a i l	kazuyuki.ishida@town.kagamino.lg.jp

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

岡山県 鏡野町

【設立時期】 令和5年6月28日

【設立経緯】

②区域の複数の観光協会が統合してDMO新設

【代表者】 宇佐美 勝正

【マーケティング責任者(CMO)】 小谷 英

【財務責任者(CFO)】 難波 庄司

【職員数】 13人(常勤8人(正職員3人・出向等5人)、非常勤5人)

【主な収入】(6年度決算)

収益事業7百万円、負担金36百万円、受託事業36百万円

【総支出】(6年度決算)

管理費4百万円、事業費70百万円、委託料36百万円

【連携する主な事業者】

鏡野町商工会、農林漁業関係団体、交通事業者、金融機関、
宿泊施設、商工観光事業者、(株)モンベル

KPI(実績・目標)

記入日: 令和7年 7月17日

※()内は外国人に関するもの。

項目		2022 (R4)年度	2023 (R5)年度	2024 (R6)年度	2025 (R7)年度	2026 (R8)年度	2027 (R9)年度
旅行 消費額 (百万円)	目標	400 (0)	442 (3)	485 (6)	510 (10)	535 (15)	560 (16)
	実績	425 (0)	455 (3)	475 (3)	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	20 (0)	22 (0)	23 (0)	25 (1)	26 (1)	27 (1)
	実績	17 (0)	25 (0)	18 (0)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	()	67.0 ()	69.0 ()	70.0 ()	71.0 ()	72.0 ()
	実績	()	68.4 (0)	87.5 (0)	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	()	18.0 ()	19.0 ()	20.0 ()	21.0 ()	22.0 ()
	実績	()	19.2 (0)	28.5 (0)	—	—	—

戦略

【【主なターゲット】】

- ・自然と共生した健康的なライフスタイルに関心の高い関西圏及び近県のアクティブ層
- ・健康への意識が高い、国内及び海外(台湾・香港)等東アジア圏を含むアクティブ層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

健康に繋がるサステナブルなツアー商品等の造成及びカヤックやサップ、自転車、トレッキング、文化体験等、滞在型プランを造成する。

【観光地域づくりのコンセプト】

自然との共生により、“元気で、笑顔になれる”
健康のまち鏡野町(鏡野ウェルネス)

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・健康に繋がる自然アクティビティ素材の企画開発、造成。
- ・台湾・香港等、東アジア圏のインバウンドに対応した健康滞在プログラムの企画開発

- ・アウトドアブランド「モンベル」と連携したアウトドア素材の企画開発

【受入環境整備】

- ・アドベンチャーツーリズムの実現に向けたインストラクター等の育成及びアクティビティ物品等の整備11

【情報発信・プロモーション】

- ・観光総合システムを核としたウェルネスコンテンツの開発
- Webサイト及びツアープランやファンクラブデータの一元化等

【その他】

- ・ファン創出に向けた調査・マーケティングの実施
- ・鏡野町ファンクラブ「かがみの里山健康クラブ」の拡充
- ・観光推進体制の確立(専門人材の参画)

